

1. センター長挨拶

原虫病研究センター長 井上 昇

私どもの研究センターは、原虫病に関する総合的研究を行い、我が国のみならず、アジア、アフリカ、南米などの開発途上国との学術国際協力により、動物資源としての畜産の振興と人類の健康と福祉の維持・向上に学術的貢献を果たすことの目的に平成2年度に設立されました。以来、我が国の獣医・畜産系大学では唯一の原虫病に関する研究拠点として、学内外の研究者との共同研究を積極的に推進して参りました。これらの活動を通じた最近の動きとしては、平成 19 年の国際獣疫事務所(OIE)のリファレンスラボラトリーとしての認定、翌 20 年の同じくOIEのコラボレーティングセンターとしての認定、および平成 21 年に文部科学省から「原虫病制圧に向けた国際的共同拠点」として共同利用・共同研究拠点到認定されたことが挙げられます。

また、当センターの特徴のひとつとしては、平成 7 年から国際協力機構(JICA)と共同で継続的に実施している開発途上国の研究者・技術者を対象とした11カ月間の上級専門家育成トレーニングコースが挙げられますが、このトレーニングコースの修了生が 200 名近くに達したことを契機に、平成 24 年度から本トレーニングコース修了者を対象に共同研究員として 6~12 カ月間雇用するプログラムを開始致しました。これは、当センターで教育・研修を受け、本国に戻った研究者・技術者からの研究提案を受けて共同研究員としての雇用の採否を決する形で実施しており、人材育成はもとより、本国では実行が困難な研究テーマの芽を育成、推進を具現化する新規の共同研究プログラムとしても注目されるところです。また、平成 24 年度には、女性教員およびテニユアトラック教員をそれぞれ 1 名ずつ採用して研究基盤の拡大を図るとともに、(株)白寿生科学研究所の寄付講座を開設するなど産学連携にも努めてきたところです。今後とも関係の皆様からのご批判、ご提言を賜り、当センターの研究体制の改善、向上、および研究の発展のために努めていく所存でございます。年報の発行にあたり、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。